

茂原市学校再編基本計画を策定しました

市教育委員会では、少子化により児童生徒数が減少している中、子どもたちにとってより良い教育環境を確保するため、「茂原市学校再編基本計画」を策定しました。

今後、統廃合する学校名や具体的な時期を定めた実施計画を策定します。

1. 茂原市立小中学校の適正規模

小学校＝12学級以上18学級以下
(1学年2学級～3学級)

中学校＝9学級以上18学級以下
(1学年3学級～6学級)

◆平成28年度時点で適正規模を満たしている学校

小学校＝14校中6校
(東郷、茂原、五郷、萩原、中の島、東部)

中学校＝7校中4校(東、富士見、茂原、南)

※普通学級の学級数を基準とする。

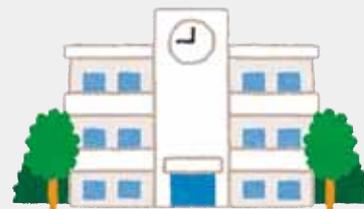
2. 学校再編の考え方

(1) 教育環境の充実を最優先

- ・互いに切磋琢磨できる環境(一定の集団規模)の確保
- ・保護者や子どもたちの意見の尊重
- ・通学に対する配慮(通学手段、通学距離、通学路の安全性)など

(2) 再編にあたっての配慮

- ・再編に関する情報の発信、提供
- ・地域住民の理解
- ・学校施設および跡地の活用方法の検討など



3. 学校再編の基本方針

(1) 適正規模の維持

- ・複式学級や単学級を解消し、学習活動や学校行事、部活動等の充実を図ります。

(2) 再編後の教育施設等の充実

- ・再編後の施設(校舎、トイレ等)の改修に努めます。また、小中一貫教育について検討します。

(3) 通学手段・安全性の確保

- ・スクールバスなど通学手段を確保します。また、通学路を整備し安全性を確保します。

4. 学校規模ごとの基本的な方向性

(1) 小学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～5学級	・速やかに統廃合する
6学級	・今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合する
7～8学級	・今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合を行う
9～11学級	・統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討する
12～18学級	【適正規模】

(2) 中学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～3学級	・速やかに統廃合する
4～8学級	・今後生徒数が減少する見込みであれば、統廃合や学区の見直し等を行う
9～18学級	【適正規模】

※詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。

《基本計画の説明会を実施》

基本計画の内容や今後の学校再編の進め方について、以下のとおり説明会を開催します。

日時・場所 ①5月14日◎14時～ 市役所市民室 ②5月28日◎14時～ 本納中学校体育館

※内容は①・②どちらも同じです。

お問い合わせは、教育総務課(9階) ☎(20)1557、FAX(20)1607へ。